

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第88号 令和5(2023)年4月7日発行



令和5(2023)年度の開始に当たって

栃木県総合教育センター所長 大高 栄男

当センターは、教員研修機能と生涯学習推進機能を併せ持つ全国初の施設として、平成4(1992)年10月に開所し、以来30年に渡り、多くの教職員の皆様や県民の皆様の学びの伴走者として歩んでまいりました。

現在は、「栃木県教育振興基本計画2025」に掲げられた基本理念「とちぎに愛情と誇りをもち 未来を描き ともに切り拓くことのできる 心豊かなたくましい人を育てます」のもと、本県教育の充実と生涯学習の振興のため、教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談、幼児教育及び生涯学習活動への支援を推進しているところです。

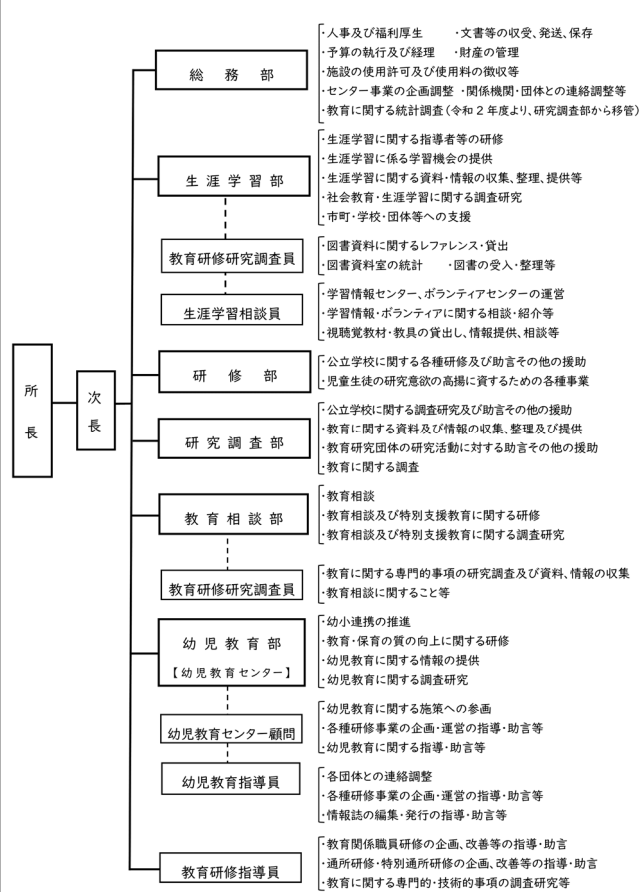
今後とも、当センターが栃木県の教育の一翼を担う存在であり続けるために、所員一同、努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



沿革

昭和37(1962)年 4月 栃木県理科教育センター開設
昭和46(1971)年 1月 栃木県教育研修センター開設
5月 栃木県教育研修センター開所式
昭和63(1988)年12月 総合教育センター整備基本構想策定、教職員研修と生涯学習推進機能を併せもつ施設として、宇都宮市瓦谷町地内(中央青年の家跡地及び農業試験場農場の一部)に計画
平成 2(1990)年11月 総合教育センター建設工事着工
平成 4(1992)年 6月 「栃木県総合教育センター条例」制定
7月 建設工事竣工
9月 「栃木県総合教育センター管理規則」制定、管理課、生涯学習部、義務教育部、高校教育部、特殊教育・相談部を置く(1課4部制)
平成 4(1992)年10月 栃木県総合教育センター開所
平成 5(1993)年 4月 管理部、生涯学習部、義務教育部、高校教育部、特殊教育・相談部となる(5部制)
平成 8(1996)年 3月 「ソフトウェアライブラリ」設置
平成 9(1997)年 4月 「栃木県生涯学習ボランティアセンター」設置
平成11(1999)年 4月 特殊教育・相談部を、障害児教育・相談部に名称変更
7月 第1回「学びの杜の夏休み」開催
平成13(2001)年 3月 第1回「栃木県教育研究発表大会」開催
4月 義務教育部と高校教育部を、研修部と研究調査部に組織改編
障害児教育・相談部を、教育相談部に名称変更
平成14(2002)年 4月 幼児教育部「幼児教育センター」設置、管理部、生涯学習部、研修部、研究調査部教育相談部、幼児教育部となる(6部制)
平成15(2003)年10月 「カリキュラムセンター」設置
平成22(2010)年10月 「とちぎの教育未来塾」開始
平成24(2012)年10月 総合教育センター設立20周年記念式典
平成25(2013)年 4月 管理部を総務部に組織改編、総務部に企画調整担当を設置
平成29(2017)年11月 所歌及びマスコットキャラクター「アン」と「シン」制定
平成31(2019)年 4月 「カリキュラムセンター」を「学びの杜のサポートステーション」に名称変更
令和 5(2023)年 1月 総合教育センター設立30周年記念講演を「栃木県教育研究発表大会」において開催

所内組織及び部の主要業務



学校支援として校内研修をサポートしています

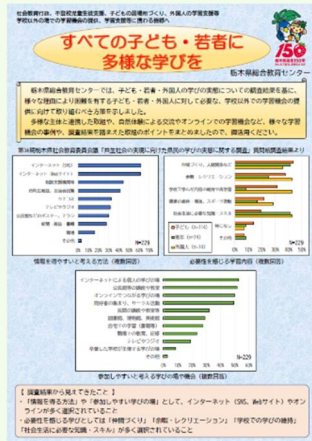
先生方にとってよりよい校内研修となるように、センターの社会教育主事や指導主事が学校に伺い、講師としてお手伝いをさせていただきます。日時、内容など各学校の御要望にに応じることができますので、以下の表を御確認の上、担当部へ電話でお申込みください。受付は随時行っています。また、テーマに無い研修に関しても承れることもありますので、御相談ください。

社会教育に関する研修支援				生涯学習部 TEL 028-665-7206
No	テーマ	目安時間	主な内容	
1	人権学習	50～120分	参加体験型の学習をとおり、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。	
2	学校・家庭・地域の連携	50～120分	学校運営会議等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験をとおして学びます。	
3	保護者対象の学習会	50～120分	保護者会(学年・学級懇談会)・PTA等における保護者同士の話し合い等の学習活動を充実するため、親学習プログラムの活用などを中心に、ファシリテーター(進行役)の役割や進め方について学びます。	
校内研修に関する研修支援				研究調査部 TEL 028-665-7204
* 実施目安時間は60～120分程度で、相談に応じます。 * テーマにない校内研修に関しても、お気軽に御相談ください。				
No	テーマ	対象	内容	
1	各科等の授業研究会	小・中・高	各学校の学校課題に合わせて各教科等授業研究会をサポートします。授業参観や研究会を通して、授業づくりのよさや授業改善につながる視点を先生方と一緒に検討していきます。指導案検討の段階から一緒に取り組むことも可能です。	
2	「目標・指導・評価」を意識した授業改善	小・中・高	「目標・指導・評価」を一体的に捉えた授業づくりについてサポートします。目標に即した評価規準の作成や評価の方法などについて先生方と一緒に具体的に考えることで、学習評価の基本的な考え方について理解を深めます。	
3	「総合的な学習の時間」及び「総合的な探究の時間」の充実	小・中・高	探究活動のねらいや、授業を充実させるための方策などについて、探究の4つのプロセスを演習を通して学びます。教科横断的な視点や、小学校から高校までの学びの連続性を意識した「総合的な学習(探究)の時間」の在り方を考えます。	
4	ICTの活用 実践講座	小・中・高	1人1台端末を活用した授業実践やプログラミング教育、各種クラウドサービスの効果的な活用方法やショートカットキーによる業務の効率化など、学校の実態に合わせて学びます。	
5	情報モラル教育	小・中・高	児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応について学びます。ワークショップを通して、先生方の実践力の向上を目指します。	
6	マネジメント	小・中・高	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を取り入れながら、各学校の教育目標の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。	
7	危機管理	小・中・高	学校における具体的な危機の場面を設定し、リスクの洗い出し、クロスロード、シミュレーションを通して、組織全体の危機管理意識を高めます。	
教育相談・特別支援教育に関する研修支援				教育相談部 TEL 028-665-7210 7211
No	テーマ	目安時間	主な内容	
1	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づいたいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応等について考えます。	
2	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校の初期対応、不登校の未然防止、登校支援、組織的対応等について考えます。	
3	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。	
4	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。 ※Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。	
5	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。 ※自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。	
6	事例検討	60～90分	児童生徒への指導・支援の方針や具体策を考えます。	
7	その他		※上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。	
幼児教育と小学校教育との接続に関する研修支援				幼児教育部 TEL 028-665-7215
No	テーマ	目安時間	内容	
1	架け橋期の教育の充実	60～90分	スタートカリキュラムや生活科の充実のために大切にしたいこと等を学び、架け橋期の教育の在り方について考えます。	
2	子どもの育ちと学びをつなぐために	60～90分	幼児期の指導要録や口頭による情報交換の趣旨と内容を踏まえ、小学校において一人一人が自分らしさを発揮しながら学ぶための指導の在り方について考えます。	

当センターがまとめたパンフレットや冊子を御活用いただけます

以下の①～⑧は、当センターがまとめたパンフレットで「令和5（2023）年3月発行」の最新版となります。

① 共生社会の実現に向けた県民の学びの実態に関する調査研究 ～困難を有する子ども・若者・外国人の支援者を対象とした調査結果から～



教育機会確保法の制定により、子どもたちに学校以外の場での学習機会の充実が一層求められています。本調査研究での成果を基に、様々な理由で困難を抱えた子どもたちに多様な学習機会を提供するための支援方をまとめました。

また、自然体験活動やオンラインでの学習機会など、多様な学習機会提供の事例も掲載しています。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

Web サイト「とちぎレインボーネット」にて掲載



【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）

② 生涯学習指導者研修修了者の地域での活動状況調査 ～家庭教育支援者の養成研修について～



当センターでは2種類の家庭教育支援者養成研修を実施しており、その修了者は各市町において地域の家庭教育支援に尽力しています。今年度、直近4年間の当該研修修了者を対象に、地域における活動状況や研修での学びの活用状況について調査を行い、今後の研修やその修了者の活動の在り方についてまとめました。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

Web サイト「とちぎレインボーネット」にて掲載



【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）

③ 「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価 ～PDCAサイクルが機能する実践から～



学校評価を園の教育・保育の質の保証とその向上につなげるためには、学校関係者評価を含めたPDCAサイクルの構築が必要です。昨年度作成した学校評価のリーフレットを基に、園における学校評価の具体的な内容や方法について冊子にまとめました。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/cyosa/menu.htm>



【問合せ先】幼児教育部（TEL 028-665-7215）

④ 資質・能力の育成を目指した学習評価の充実

(高等学校における教科指導充実)



観点別学習状況の評価に関して、学習評価のポイントや進め方、観点ごとにまとめた評価の事例、Q&Aを含むパンフレットを作成しました。評価の事例には、生徒の学習状況や成果から育成を目指す資質・能力が身に付いているかを的確に捉えるために、目標と指導と評価を工夫した授業の例を示しました。

また、単元全体の指導と評価の計画や、指導と評価の工夫など、より詳細な実践例を当センターのWebサイトに、掲載しています。



http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/kyokasido_r04_koko/index.html

【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)

⑤ 資質・能力の育成を図る授業づくり

～単元の見通しとICTの活用の視点から～ (小学校段階)(中学校段階)



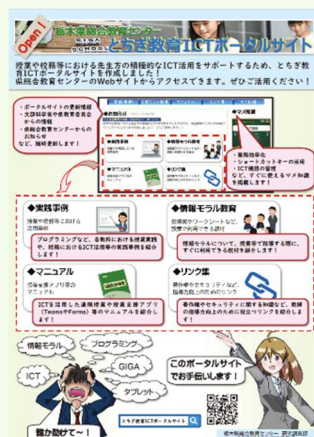
単元の見通しとICTの活用の視点に立った授業改善の実践例を小学校段階(国語科、社会科、算数科、理科、外国語科)、中学校段階(国語科、社会科、数学科、理科、外国語科)で冊子にまとめました。資質・能力の育成のために、どのように単元を構想し、どのような場面でICTを活用したのか、教科ごとに掲載しています。



http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/kyokasido_r04_shochu/index.html

【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)

⑥ とちぎ教育ICTポータルサイト



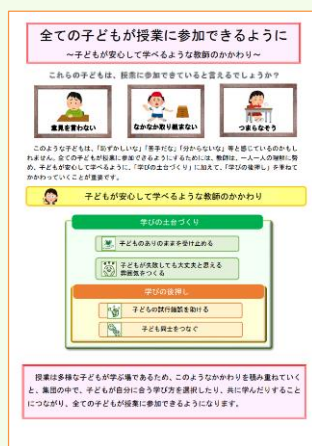
GIGAスクール構想の実現のため、教師が日常的にICTを活用することがますます求められるようになりました。そこで、授業や校務における積極的なICT活用をサポートするため、総合教育センターのWebサイト内に「とちぎ教育ICTポータルサイト」を開設しました。紹介リーフレットを毎月、すべての先生方にお届けします。ぜひ、御活用ください。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/ICTPortal>

【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)



⑦ 全ての子どもが授業に参加できるように



全ての子どもが授業に参加できるようにするために、多様な子どもが集団で学ぶ「授業」という場で、子どもが安心して学べるような教師のかかわりについてまとめました。



<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r04-2.htm>

【問合せ先】教育相談部（TEL 028-665-7210・7211）

⑧ 特別支援学校（知的障害）におけるICTを活用した指導・支援の充実



知的障害のある子どもへのタブレット端末の活用について、基本的な考え方や学習活動における活用例、研究協力校における実践事例と実践から見てきた効果的な活用につながるポイントをまとめました。タブレット端末等を活用した指導・支援の参考として、御活用ください。



<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r04.htm>

【問合せ先】教育相談部（TEL 028-665-7210・7211）

栃木県総合教育センターWeb サイトには、過去に作成したパンフレットや冊子のデータを多数掲載しております。御確認の上、御自身の目的に応じて御活用ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/02chosa/index.htm>



- ・「情報Ⅰ」におけるプログラミング指導資料
- ・先輩教師からのメッセージⅢーこれからの教育を担うみなさんへー
- ・「問い」は意図～実践編～（高等学校における教科指導充実）
- ・「見方・考え方」を意識した授業づくり～資質・能力の育成に向けた授業改善～
（小学校段階）（中学校段階）
- ・「学校におけるOJT」に関する調査研究
- ・「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価～栃木県の実態を踏まえて～
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実
～子どもの姿から、中心的な課題を明らかにするために～
- ・チームによる支援の充実を目指して～教育相談係主任を中心として～
- ・地域の課題解決に向けた取組事例調査（令和3年度）

など